


創立100年を超えた **出雲高校**  
**新たな一步を共に**



島根県立出雲高等学校  
 令和3年7月20日  
 2年生ステップアップ集会  
 校長 多々納雄二 1

これからの社会は...  
 「**唯一解**」より「**最適解**」


ジグソーパズル型から  
 (答えを探す・当てはめる)  
**レゴブロック型**へ  
 (生み出す・創り上げる)



2

個人でできることには限界がある  
 これからの社会で求められるのは、  
**自分から・協働して・学び続ける姿勢**

- ICTは必須アイテム
- AIに負けない「**～合い**」
- 変化への対応力



3

求められる力を身につける...

- **基礎学力 × 探究的な学び**
- 「**～合い**」に満ちた学び
- **機会や場面を生かしつなぐ**
- **多様な経験**を積み重ねる

4

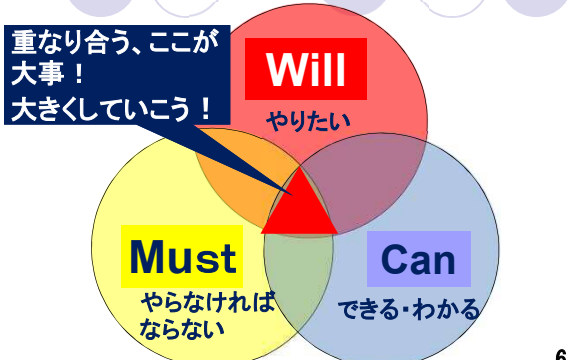
**進路先決定の決め手**

1. 自分を活かせる場を探す
2. 将来を切り拓く力はあるか
  - ・どんな環境(集団・仲間・施設)か?
  - ・良質な学びや経験ができるか?
  - ・将来に通じる力・意欲を高められるか?

情報収集し、自己分析をし、相談して、  
**最後は自分で決める**

5

将来を考え、今を充実させる



6

恵まれた環境のここ出雲で  
（「出雲」を冠した出雲高校で）  
伝統精神の「至誠」をもって  
多様な経験の積み重ねを支援

可能性を秘めた「滴」に  
4つの「光」を当てて輝かせ、  
「主体性・探究性・協働性・社会性」を磨き、  
リーダー人財を育成する

**至誠**によって**四性**を磨き、  
**挑戦する姿勢**を育む

7

## なぜ、今「集会」なのか？

- 準備には相応の時間が必要
- 実現へのロードマップ（スケジュール）共有
- 「出雲だからこそ」の支援体制と仲間・同志の存在の確認
- 一種の「決起集会」さあ、これからだ！

8

## 難関大学の特徴等

- 受験科目が多く、記述中心で高レベル  
⇒ 大学での学び、将来に必要なから
- 「敵は本能寺に…」はない  
⇒ 自身の過小評価に存在する
- 「本当にできないのか、無理なのか」  
⇒ 出雲入学段階で全員に資格はある  
⇒ 決断は試してみても遅くない  
⇒ これからいくらでも追いつき追い越せる

9

## 社会で必要とされる力等

■ キャリア教育（「轍」形成）の視点で

- ① 自己理解・自己管理能力（主体性）
- ② 人間関係形成・社会形成能力（協働・社会性）
- ③ 課題対応能力（探究性）
- ④ キャリアプランニング能力（デザイン力）

+

★ 学びを楽しむ（学び続ける）資質 （例）自転車  
できないことができるようになる  
世界が広がり、新しい世界をイメージできる

10

## 夢・希望の共有

- 夢は叶えるもの  
強気も弱音も吐けばいい  
吐くものの中から弱音がなくなったとき、叶う
- 希望は実現するもの  
Hope is a wish for something to come true  
**by action.** （「希望学」東京大学 玄田有史先生）  
自分ならではの意志・願い。実現に向かわなければ妄想。**具体的な行動で実現させるもの。**

11

## 権利と資格

- 「難関」は誰が決めた？  
世間が実績・実態に基づいて設定したもの  
世のルールや体制を決定づける候補者集団
- 「どんな人がどうやって入学するか」よりも、  
「何をどう育つか、何故にそれが可能か」  
を考えると意欲は高まる
- 誰にでも権利はあるが、**資格は獲得するもの**

12

## 経験は力

- 不安や恐怖は「未経験・経験不足」による
  - ・昔々、「出雲高校」は怖くなかったか？
  - ・コロナは怖い インフルエンザは怖くない
  - ・最初からチャンピオンはいない
- 体験から経験へ ～経験値を高めよう～
  - ・体験から学び、活かす経験に昇華させる
  - ・探究学習や部活動の経験から学んだこと

13

## 自立・協働・挑戦

- 補習科担当の先生方の実感から
- 伸びていく生徒の傾向
  - ・自立している(自己管理能力が高い)
  - ・協働できる(～合いに満ちた学び)
  - ・挑戦する(学び続ける・限界を設けない)

時間と空間を有効活用する人は伸びる！  
(GRITizmノート・朝夕の自学教室etc)

14

## 個・孤と仲間・同志

- 「ないもの強請り」よりも「あるもの活かし」  
(例) 勉強時間がない ⇒ 時間のやりくり  
勉強が捗らない ⇒ やり方の修正  
周囲が五月蠅い ⇒ 集中教室を創る
- 個人で孤立して考えるより仲間・同志と思案
- 先生や仲間達と共創(×競争)する居心地のいい時間と空間を堪能しよう  
才能を磨き合って互いに高める=切磋琢磨

15

## K のチェンジ

自身の行動を決定づけたもの



16

## 人生はかけ算

- 才能は「ある」ものが「磨かれる」もの  
何もしなければ才能は眠ったまま  
磨けば光り輝く 自分磨きには苦難と限界  
何でどう磨くか 磨き方は多種多様
- 意欲と努力、そして協働  
一つでもゼロなら全てがゼロ
- 変革のチャンスはいつでも転がっている  
その一つが今かもしれない  
変わる最良の方法は、「宣言」

17

## 質疑応答

- 「今からでも間に合いますか？」  
自分次第。間に合わせる気があるか否か
- 「塾に行った方がいいですか？」  
学校と塾との二足の草鞋が履けるか否か  
学校の学びは十分できているか否か
- 「本当に自分が目指していいのでしょうか？」  
自分以外に、任せたい誰かがいるか否か  
(あなたがやらずに誰がやる)  
あなたを活かせる場が他にあるか否か

18